



ICHIKEN

第91期 中間株主通信

平成28年4月1日～平成28年9月30日



BMW GROUP Tokyo Bay



証券コード:1847

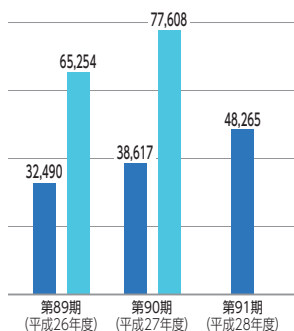
株式会社 **イチケン**

主な経営指標の推移

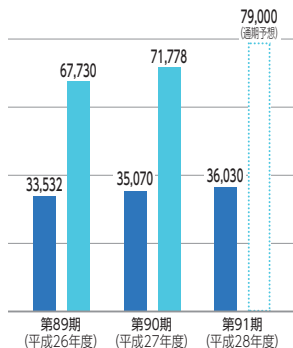
FINANCIAL HIGHLIGHTS

■ 中間期 ■ 通期

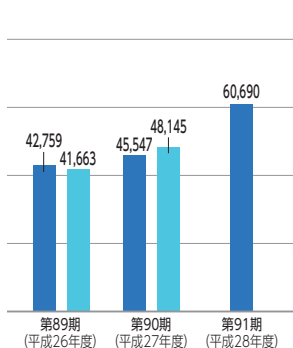
受注高 (単位: 百万円)



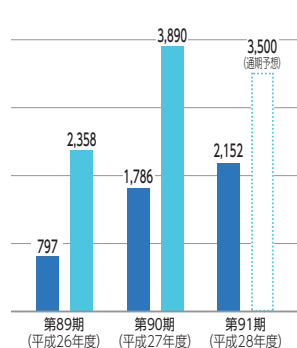
売上高 (単位: 百万円)



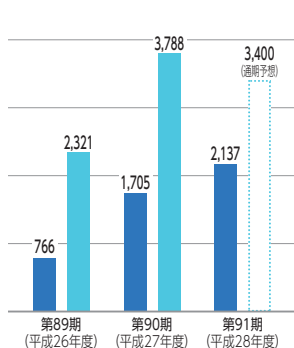
手持工事高 (単位: 百万円)



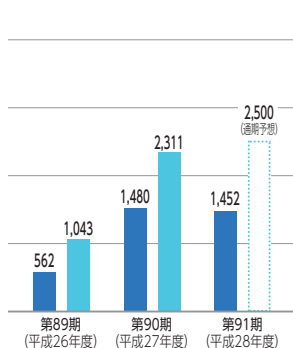
営業利益 (単位: 百万円)



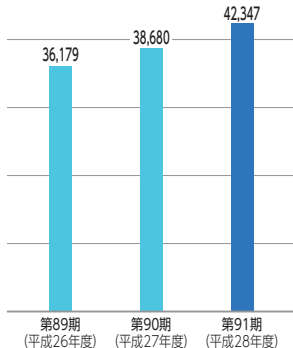
経常利益 (単位: 百万円)



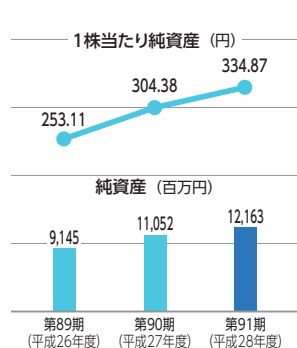
四半期(当期)純利益 (単位: 百万円)



総資産 (単位: 百万円)



純資産/1株当たり純資産



当中間期
決算のポイント

- Point 1** 商業施設、事務所、医療・介護施設の受注が順調に推移したことなどにより、受注高は482億6千5百万円(前年同期比25.0%増)となりました。
- Point 2** 完成工事高の増加や工事採算性の向上により完成工事総利益が増加したことなどから、営業利益は21億5千2百万円(前年同期比20.5%増)となりました。
- Point 3** 四半期純利益14億5千2百万円を獲得したことにより、純資産は121億6千3百万円(前期末比11億1千万円増)となりました。

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第91期中間期における営業のご報告にあたり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

当中間期におきましては、オリンピック関連事業やインバウンド需要の高まりにより、首都圏を中心とした公共投資や民間設備投資の増加等、持ち直しの動きが見られるものの、技能労働者不足や労務費及び資材価格の上昇懸念など、依然として予断を許さない状況が続くなか、当社はコア事業である「商業施設」の建設事業のノウハウや企画・提案力を生かし、店舗やアミューズメント施設等の新築工事や内改装工事のほか、訪日観光客の増加に伴うホテル建設、待機児童対策による保育園建設、老年人口の増加による医療・介護施設建設等の需要に対しても積極的に受注活動を行ってまいりました。

この結果、売上高及び各利益ともに当初の予想を大幅に上回る結果となりました。

当社を取り巻く経営環境は今後も予断を許さない状況が続くものと予想されますが、株主の皆様のご期待に応えるべく、社員一同一丸となってさらに努力する所存でございます。

株主の皆様には一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年12月



代表取締役社長
長谷川 博之

Q 当中間期の市場環境や決算のポイントなどについて教えてください。

A 売上高及び各利益ともに当初の予想を大幅に上回る結果となりました。

当中間期の業績につきましては、商業施設の完成工事高の増加等により売上高は360億3千万円(前年同期比2.7%増)となりました。

損益につきましては、完成工事高の増加や工事採算性の向上により完成工事総利益が増加したことなどから、営業利益は21億5千2百万円(前年同期比20.5%増)、経常利益は21億3千7百万円(前年同期比25.3%増)、四半期純利益は14億5千2百万円(前年同期比1.9%減)となりました。

また、当中間期における財政状態は、資産合計が前期末に比べ36億6千6百万円増加し、423億4千7百万円となりました。主な内容は、工事代金の回収増などに伴う現金預金の増27億1千9百万円です。

負債合計は前期末に比べ25億5千6百万円増加し、301億8千3百万円となりました。主な内容は、手持工事高の増加に伴う未成工事受入金の増22億5百万円です。

純資産合計は前期末に比べ11億1千万円増加し、121億6千3百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が前期に係る期末配当を行ったことにより2億8千9百万円減少したものの、当中間期において四半期純利益14億5千2百万円を獲得したためです。

Q 中期経営計画の進捗状況をお聞かせください。

A 最終年度(平成31年度)の経営目標の達成に向けた重点施策を計画的に実施しております。

昨年度からスタートした「中期経営計画」では、将来的な建設需要の減少懸念から、中核の建設事業の売上高が減少した場合に備えて、安定した収益基盤を構築することを経営課題に位置付け、採算重視で事業活動を実施してまいりました。

2年目となる当期ですが、業績見通しは期初の計画を大幅に上回り、売上高790億円、営業利益35億円、経常利益34億円、当期純利益は過去最高益となった昨年度を上回る25億円の見通しとなり、現場の力が少しず

つ上がってきている手ごたえを感じ始めております。

また、当期純利益は過去最高益を上回る見通しとなったため、当期の期末配当予想を1株当たり9円に増額修正させていただきました。

当期の経営施策につきましては、中期経営計画で掲げた重点施策を大きな枠組みとして、建設事業では品質・安全そして環境をテーマとした『技術力の向上』と『生産性の向上』に重点的に取り組んでおります。一例としては、構造・品質の精度をさらに高めるためBIM※の導入に着手したことや、環境負荷の低減を図るため、環境行動計画を策定し、東京支店で取得していた環境マネジメントシステム(ISO14001)の認証を全支店に拡大して取得いたしました。さらに環境問題に対する意識向上の一環として、全従業員にeco検定®の取得を奨励しております。また、作業所を中心とした事

【中期経営計画】(当期における重点施策の取り組み内容)

■ 経営ビジョン

より豊かで快適な『暮らし空間』を創造し続けることで広く社会へ貢献する

▶ 経営課題

建設事業の売上高減少に備え、安定した収益基盤を構築

重点
施策

▶ 技術提案力の強化

▶ 採算性を重視した取り組み

▶ 不動産事業の活性化

▶ 新規事業への取り組み

▶ マネジメント力の向上



BIM導入に着手、環境行動計画策定

生産性向上、売上総利益率7%以上

保有資産入替、新規収益物件の購入検討

国内外での事業展開のための情報収集継続

研修(営業、技術、コンプライアンス他)、BCP策定

務負担の省力化を図るため、会計・原価管理の基幹システムを全面更新するとともに、電子決裁システムを導入いたしました。今後も生産性向上につながるICTを積極的に導入しようと考えております。

不動産事業は、将来の不動産の新規取得を見据えた保有資産の整理と事業全体の活性化策を検討しております。

また、平成32年度以降を見据えた新規事業の検討は、当社の既存事業とのシナジーを発揮できる分野を中心として、継続的に情報収集を行っております。

そのほか、建設会社としての社会的使命を果たすため、大規模災害等の緊急時の事業継続や早期復旧を図るための事業継続計画(BCP)を策定し、このたび国土交通省 関東地方整備局より認定を受けることができました。今後は、建設業界の一員として、次代を担

う土木・建築関係就業者の育成支援やダイバーシティの取り組みである建設現場における女性“けんせつ小町”の活躍推進のための環境整備等をさらに推進していきたいと考えております。

※ BIM(Building Information Modeling)

コンピューター上に作成した3次元の建物のデジタルモデルに、コストや仕上げ、維持管理情報などの属性データを追加した建築物のデータベースを、建物の設計、施工から維持管理までのあらゆる工程で活用できるソリューションであり、顧客との立体的な設計イメージの共有や建物完成後の効率的な維持管理等に寄与する画期的なツールである。

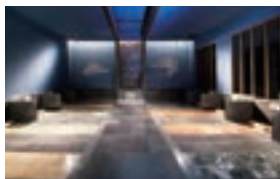
【平成28年度環境目標】

分野	施策	目標
環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステム(ISO14001)の全支店認証取得	平成28年度中に認証取得 ※平成28年10月取得済
環境教育	eco検定 [®] の取得	全従業員50%以上の取得
地球温暖化対策	作業所からのCO ₂ 排出量の削減	平成27年度比2%削減
	設計する建物のライフサイクルCO ₂ の削減	設計物件全てでCASBEEの評価B+以上
建設廃棄物対策	電子Manifestoの利用率の向上	利用率99%以上
	作業所から排出される廃棄物の削減	混合廃棄物排出量 平成27年度比11%削減
	建設副産物の分別	分別実施率87%

分野	施策	目標
有害物質対策	土壌汚染、アスベスト、フロン等の有害物質の適正処理	100%実施
オフィスにおける環境保全活動	電力使用量を削減	平成27年度比5%削減
	コピー用紙の使用量の削減	平成27年度比5%削減
	事務用品のグリーン調達	グリーン調達率 65%以上
	オフィスのゴミの分別収集	100%実施
環境法令遵守	近隣協定を含む作業所の環境関連法規制の遵守	対象工事で100%実施

イチケンが創造する豊かで快適な「暮らし空間」。

温浴施設 SPA-HERBS 大宮



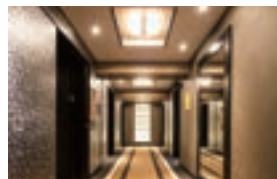
埼玉県さいたま市

竣工 平成28年4月

構造 S造 4階建

延床面積 5,866㎡

ホテル アパホテル<巣鴨駅前>



東京都豊島区

竣工 平成28年6月

構造 S造 14階建

延床面積 8,900㎡

その一部をご紹介します。

商業施設 フードスクエア カスミ江戸崎パンプ店(新装工事)



茨城県稲敷市

竣工 平成28年7月

構造 S造 2階建

延床面積 2,723㎡



商業施設 スーパーやまのぶ野見山店



愛知県豊田市

竣工 平成28年5月

構造 S造

延床面積 2,037㎡



商業施設 スーパーシド鹿島店



福島県南相馬市

竣工 平成28年7月

構造 S造

延床面積 1,884㎡



マンション オーヴィジョン下関海峡テラス



山口県下関市

竣工 平成28年7月

構造 S造 14階建

延床面積 5,866㎡

BMW GROUP Tokyo Bayオープン!!

世界的なブランドである、
BMWブランドの体験型販売拠点を
東京ベイフロントに建設しました。

約2万7,000m²という広大な敷地を利用し、販売車両の試乗に加えて基礎的な運転トレーニングも可能なBMW M社認定のドライビング・エリアや300人以上を収容可能な国際会議ホールなどを組み合わせた日本最大規模となるBMW / MINIのショールームを設計・施工で建設しました。



<<http://bmw-japan.jp/bmwtokyobay/>>

事業継続計画 (BCP) の認定を取得

平成28年10月1日に
国土交通省 関東地方整備局より認定を受けました。

当社は、大地震等の大規模災害が発生した際に、当社の役職員、事務所建物・設備、施工中の作業所、竣工後の建物、協力会社などが被害を受けた時でも、重要な業務を極力、中断することなく、また、中断しても早期復旧ができるように対処するため、事業継続計画(BCP)を策定し、国土交通省 関東地方整備局より認定を受けました。

※BCP(Business Continuity Plan・事業継続計画)

「企業が自然災害等の緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限に留めつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするための計画」のこと。

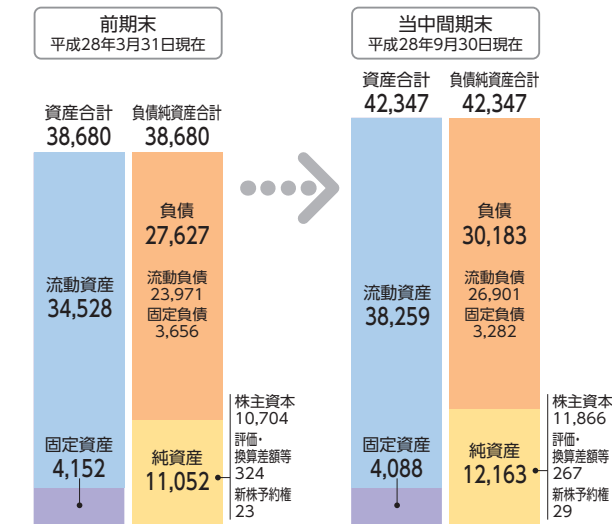


詳細な財務情報は

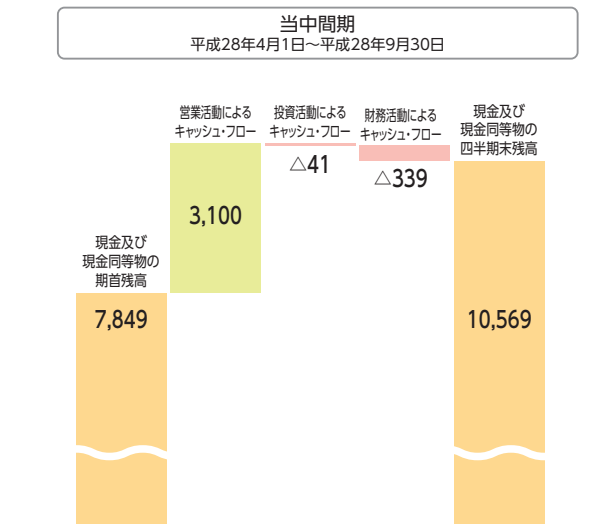
[イチケン](#) [IR情報](#)

[検索](#)

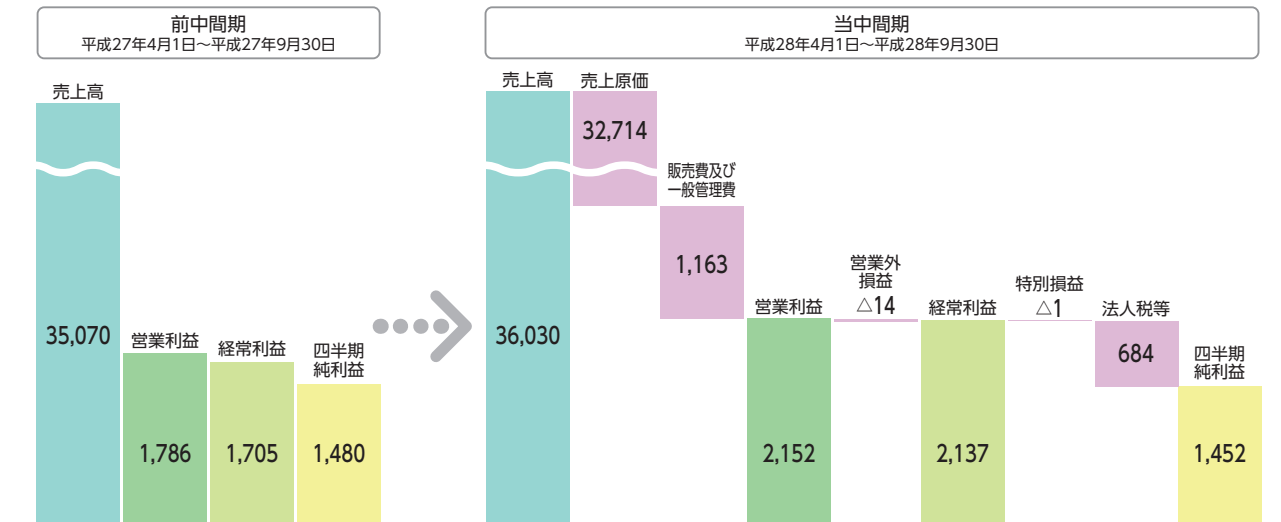
●貸借対照表の概要 (単位:百万円)



●キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



●損益計算書の概要 (単位:百万円)



(平成28年9月30日現在)

会社概要

商号	株式会社イチケン
創業	昭和5年6月
資本金	43億2,167万2,065円
営業種目	総合建設業、貸ビル賃貸業、住宅・商業施設ディベロッパー事業、都市環境整備事業、複合商業施設企画・設計・施工・監理、専門店舗企画・設計・施工・監理
従業員数	610名
取引銀行	三井住友銀行 三菱東京UFJ銀行 東日本銀行 他

役員

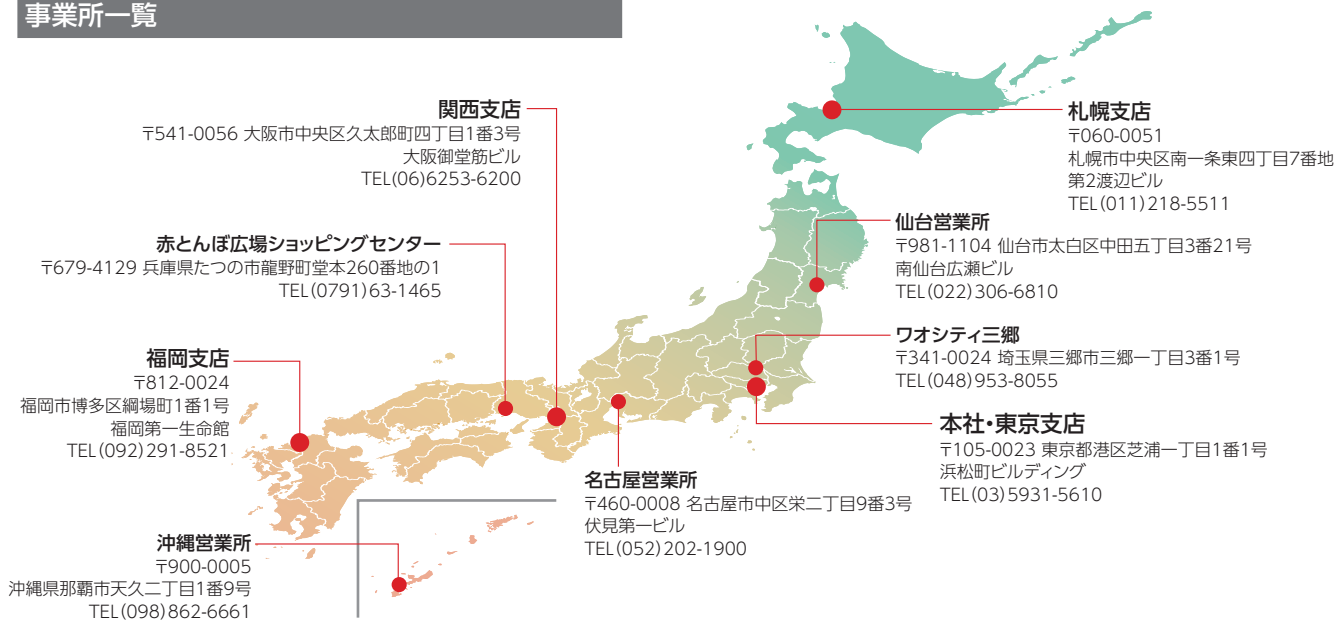
取締役および監査役

代表取締役社長	長谷川 博之	取締役(社外)	藤田 進
取締役	古川 仁一	取締役(社外)	武内 秀明
取締役	吉田 稔	常勤監査役	木村 隆夫
取締役	西出 英雄	監査役(社外)	西村 正明
取締役(社外)	本山 洋平	監査役(社外)	吉識 至孝

執行役員

社長執行役員	長谷川 博之	執行役員	山口 清人
専務執行役員	古川 仁一	執行役員	野崎 晃
常務執行役員	吉田 稔	執行役員	阿野 浩二
常務執行役員	佐々 英昭	執行役員	磯野 慶治
常務執行役員	湯ノ口 智治	執行役員	濱野 明
執行役員	西出 英雄		

事業所一覧



(平成28年9月30日現在)

株式の状況

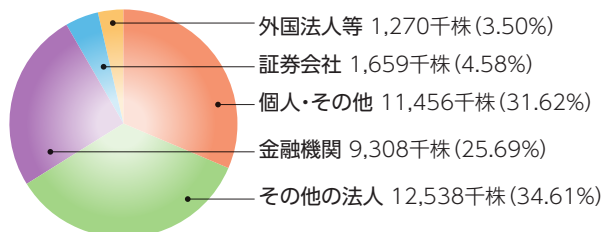
発行可能株式総数	111,200,000株
発行済株式の総数 (自己株式109,005株を含む)	36,342,000株
株主数	3,825名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社 マルハン	11,714	32.32
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,358	12.02
株式会社 三井住友銀行	996	2.74
全国一栄会持株会	741	2.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	642	1.77
株式会社 三菱東京UFJ銀行	592	1.63
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	330	0.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口I)	304	0.83
水野 憲雄	303	0.83
株式会社 SBI証券	291	0.80

- (注) 1. 持株数上位10名の株主について記載しております。
 2. 持株数は、1,000株未満の株式数を切り捨てて表示しております。
 3. 持株比率は、各株主の持株数(1,000株未満の持株数を含む)の自己株式を除く発行済株式の総数に対する比率を記載しており、パーセントの数値は、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。
 4. 全国一栄会持株会は、当社の取引先企業で構成されている持株会であります。

所有者別株式分布の状況



(注) 自己株式を除外した比率を記載しております。

● 株主還元の様況

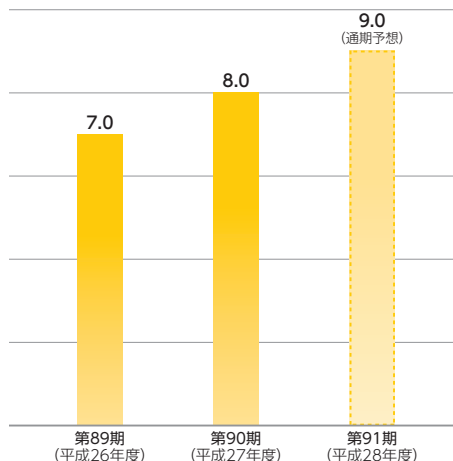
平成29年3月期の業績が当初予想を上回る見込みとなりましたので、1株当たり期末配当予想を9円といたしました。

当社は、事業の成長・拡大及び財務基盤の安定化による企業価値の向上と、株主様への直接的な利益還元である配当の安定的な実施に重点を置き、利益配分につきましては、今後の成長・拡大に備えた内部留保の充実を考慮して決定することを株主還元の基本方針としております。

通期の業績予想につきましては、当中間期までの業績動向を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益は、当初予想を上回る見込みとなりました。

これにより、期末配当予想を1株当たり9円に増額修正させていただきました。

1株当たり配当金 (単位:円)



※第89期には創立85周年記念配当(1株当たり2円)を含んでおります。

当社ホームページのご案内

<http://www.ichiken.co.jp>

当社ホームページでは、ニュースリリースをはじめ、詳しい事業案内やIR情報など充実した情報を適時、掲載しています。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会の議決権 毎年3月31日 毎年3月31日 配当金受領株主確定日 なお中間配当を実施する場合の株主確定日は毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(通話料無料)
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
公告方法	電子公告により行います。 (当社ホームページ) http://www.ichiken.co.jp 但し、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。

お知らせ

▶ 株式に関する住所変更等のお申出先について

1. 証券会社の口座に株式をお持ちの株主様
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
2. 特別口座に株式をお持ちの株主様
特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

▶ 未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。



株式会社 **イチケン**

〒105-0023 東京都港区芝浦一丁目1番1号 浜松町ビルディング
電話(03)5931-5610 (9:00~18:00、土・日・祝日・年末年始を除く)

